

自治体職員のナッジ研修

～ナッジを政策課題の解決に活かす～

カリキュラム

- 1. ナッジの考え方を理解する
- 2. 人の意思決定の裏にある「バイアス」
- 3. 自治体におけるナッジ活用例
- 4. ナッジを活用するためのフレームワーク
- 5. ナッジを政策課題の解決に活かす(演習)

概 要

ナッジとは、選択の自由を残しながら、本人にとって望ましい結果になる選択を自発的に取れるよう、見せ方・伝え方などを工夫する手法のことで、本来は「肘で小突く」「そっと突く」という意味がある。
ナッジは、企業や省庁をはじめ、各方面で注目されている課題解決の手法の1つである。そのナッジの基礎を講義で学び、演習を通じて日常業務における活用方法を考える。

研修情報

- 日 程： 令和8年1月23日(金)【1日】
- 対象者： 受講を希望する職員
- 形 式： グループ
- 研修室： 研修室35

時間割

講 師

1
日
目

- | | | | |
|-------|---|-------|------------|
| 9:30 | ～ | 9:40 | オリエンテーション |
| 9:40 | ～ | 11:40 | 講義 |
| 11:40 | ～ | 12:40 | 昼休憩 |
| 12:40 | ～ | 16:40 | 講義 |
| 16:40 | ～ | 16:45 | 事務連絡・アンケート |

特定非営利活動法人Policy Garage
浦田 賢 氏